

BUSINESS REPORT



110th
Innovation



株主の皆さまへ 第109期 第2四半期報告書

2018年12月1日から2019年5月31日まで

P7

キーワードで知る津田駒

15万台

津田駒工業株式会社



代表取締役会長 菱沼捷二 (右)
代表取締役社長 高納伸宏 (左)

2018-2020 スローガン

トップを目指せ
強い津田駒 新たな挑戦

連結業績ハイライト

連結業績ハイライト	
受注高	経常利益
16,396 百万円 (前年同期24,522百万円)	554 百万円 (前年同期179百万円)
売上高	親会社株主に帰属する四半期純利益
20,325 百万円 (前年同期19,914百万円)	451 百万円 (前年同期120百万円)
営業利益	1株当たり四半期純利益
640 百万円 (前年同期243百万円)	70.61 円 (前年同期18.93円)

第109期第2四半期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。各地で発生しております地震や豪雨等の被災地の皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。

Q 2019年度第2四半期の業績は？

A 受注は減少しましたが売上・利益は堅調でした。

当第2四半期は、やはり米中貿易摩擦問題を筆頭に、米国の外交政策に伴う世界経済への影響や中東情勢の変化、ブレグジット問題など、不透明感が広がってきました。

そうした中で、当企業グループは、受注の確保と売上の拡大、生産効率・生産能力の向上に注力

いたしました。

生産・売上の面では、繊維機械事業、工作機械関連事業ともに堅調に推移いたしましたが、受注面では、米中貿易摩擦問題の影響等から、一服感が見られるようになりました。

この結果、全体の受注高は16,396百万円（前年同期比33.1%減少）となりました。売上高は20,325百万円（同比2.1%増加）となりました。損益面では、営業利益は640百万円（同比163.4%増加）、経常利益は554百万円（同比209.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は451百万円（同比273.0%増加）となりました。

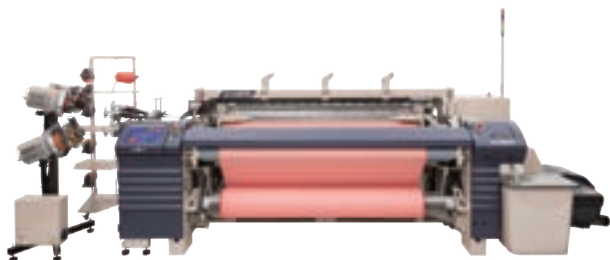
Q 米中貿易摩擦の影響はいかがでしたか。

A 繊維機械事業では一部に影響が出ていますが、総じて堅調でした。

繊維機械事業では、中国市場は中心市場の一つですので、米中貿易摩擦の影響が懸念されました。しかし、追加関税の対象となっておりますシーツやタオル用のエアジェットルームに多少の影響があった程度で、むしろ、中国国内の環境問題を発端とする高級ウォータージェットルームの買い替え需要や中国の内需向け織物用の設備投資が継続し、総じて堅調に推移いたしました。またその流れから、中国現地子会社であります津田駒機械製造（常熟）有限公司でも生産を増やしました。さらに新しい動きとして、中国の人件費高騰や外交リスクを回避するために生産拠点を中国から近隣諸国に移す動きが見られました。インドをはじめベトナムやパキスタン等での設備投資案件を積極的にフォローいたしました。

もう一つの中心市場でありますインド市場は、





超高速エアジェットルーム

引き合いは継続しておりますが、銀行融資審査の厳格化に伴うL/C開設遅れの影響を強く受け、受注・売上ともに低調に推移いたしました。また、5月の総選挙の結果を見定めるため投資を控える動きも見られました。総選挙によりモディ政権の継続が決定しましたことから、今後、投資活動が正常化することが期待されます。そのほかの市場では、日本市場は、ワーキングウエアや産業資材の分野が堅調に推移いたしました。また、当社が世界的に高いシェアを有するサイジングマシン（織機に仕掛けるタテ糸に糊付けを行い、品質を整える機械）等、準備機械の販売促進を図りました。



世界トップブランドのフィラメント用サイジングマシン

Q 工作機械関連事業はいかがでしたか。

A 今後の動向を見極める
慎重な動きが目立ちました。

工作機械関連事業では、生産・売上面では引き続き堅調に推移いたしました。受注面では、航空機業界向けは堅調に推移しました。また、人手不足に対応するための効率化投資も増加してまいりました。しかし、米中貿易摩擦問題を筆頭に米国の対外政策の影響を見極めようとする動きは強く、主要な取引先であります工作機械業界の減速に加え、国内の自動車部品関連業界でも、日本国内や中国での設備投資に慎重な動きが見られました。北米市場でも、自動車部品加工やオイル関連の投資が弱くなってきました。

こうした状況に対し、当事業部門では、新たな生産設備立ち上げと生産効率化の改善活動を進め、利益の確保を図りました。



生産効率化に需要が高まるNC円テーブル



最新技術を競ったITMA2019（当社小間全景）

Q 市場では新しい動きも見られていますね。

A 環境への対応や生産効率化、革新技術への投資が盛んになっています。

受注環境は、米中貿易摩擦問題をはじめ、国際的な政治・経済の要因から投資に消極的な状況になっています。しかし、これから人手不足に対応するための効率化投資が一層拡大することが予想されます。また、新興国経済の成長は今後も続きます。さらに、環境対策は世界的な動きとして加速すると思いますし、5Gや電気自動車、自動運転システムなど革新技術の実用化も近づいています。こうして考えると、悲観的な見方をする必要はなく、潜在的な設備投資意欲は依然として高い状態にあると予想しております。

Q 令和の新時代を迎えました。

A 令和元年と創業110周年を、さらなる改革のきっかけにしたい。

令和元年に当たる今年が、ちょうど津田駒の創業110周年の記念の年となりました。そしてこの5月に

は、1976年に生産を開始したウォータジェット機の累計生産台数が15万台に達しました。数年後にはエアジェットルームと合わせてジェットルーム生産30万台が見えています。我々は、これからも時代の変化をしっかり捉えて、新しい製品や技術開発を進めていきます。今年の6月には、スペイン・バルセロナ市で国際繊維機械見本市 ITMA2019が開催されました。当社はこの展示会で、高速性と共に世界で関心が高い環境問題への取り組みをアピールし、お客さまに高く評価いただきました。工作機械関連でも、9月にはEMO2019、10月にはメカトロテック・ジャパン2019と国際工作機械見本市が開催される予定で、これに向けて新製品の開発を進めています。

ビジネスレポートの表紙にもありますように110周年にあたり『110th Innovation』というロゴを作って、技術開発だけでなく、会社全体の改革も積極的に進めています。将来、株主の皆さまに「令和になって、また、110周年を機に、新しいツダコマになった」と言われるように、全社員で頑張りたいと思います。株主の皆さまには、引き続き、ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



2019年5月27日 15万台目の生産をお祝いしました

事業別の状況

繊維機械事業

受注高

13,106 百万円 (前年同期比31.6%減少)

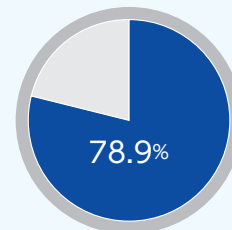
売上高

16,029 百万円 (前年同期比1.9%増加)

営業利益

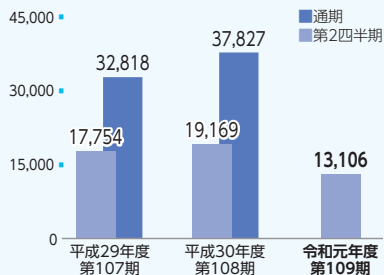
807 百万円 (前年同期比87.0%増加)

売上高構成比



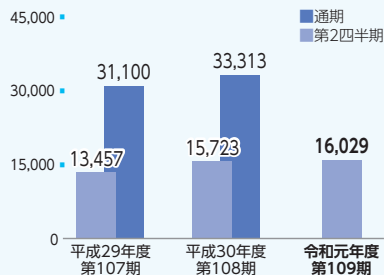
受注高

(単位: 百万円)



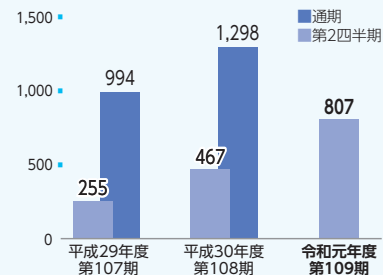
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)



ツダコマの主な製品

繊維機械

エアジェットルーム・ウォータージェットルーム

水や空気の噴射力を使ってヨコ糸を織り込んでいく織物機械がジェットルームです。最新の電子制御技術を駆使して、1分間に1,000本以上のヨコ糸を織り込みながら、現代の産業界に欠かせない省エネや省人化を両立させました。

流行の衣料素材から産業資材までさまざまな織物を織りこなします。



タオル用エアジェットルームZAX9200Terry

工作機械関連事業

受注高

3,290 百万円 (前年同期比38.5%減少)

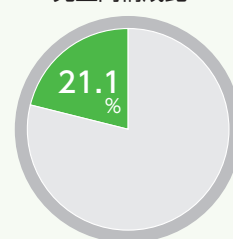
売上高

4,295 百万円 (前年同期比2.5%増加)

営業利益

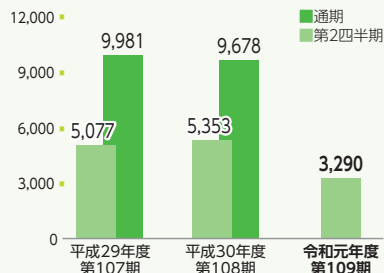
505 百万円 (前年同期比10.1%増加)

売上高構成比



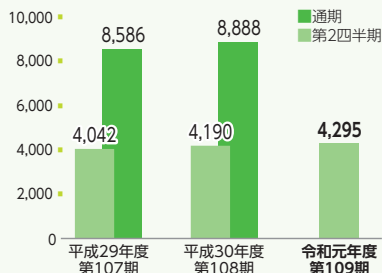
受注高

(単位: 百万円)



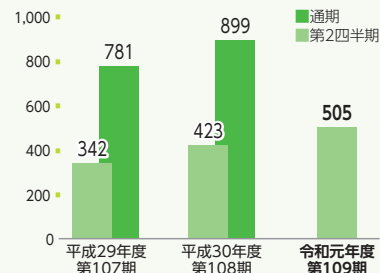
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)



工作機械関連

NC円テーブル・マシンバイスなど

精密な部品加工に欠かせないNC円テーブルやマシンバイスを開発しています。

人気のスマートフォンから航空機、宇宙産業まで、さまざまな産業分野でご利用いただける製品ラインアップと高速性、高精度、耐久性が最大の特長です。

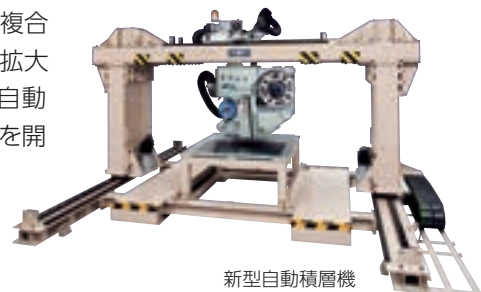


NC傾斜円テーブル

コンポジット機械

炭素繊維複合素材の自動積層機

21世紀の素材革命といわれる炭素繊維複合素材の自動積層機を開発しています。すでに新型航空機の機体の部材生産に使われています。また、自動車など炭素繊維複合素材の利用分野の拡大に先立ち、新しい自動積層機や周辺装置を開発しています。



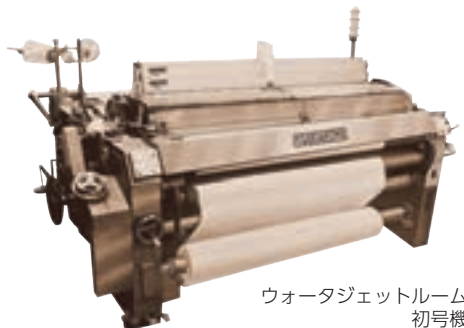
新型自動積層機



キーワードで知る津田駒

15万台

ツダコマのウォータジェットルーム生産が、2019年5月、ついに15万台を記録しました。世界最多の生産実績です。



ウォータジェットルーム
初号機

ツダコマのウォータジェットルームの生産が始まったのは、1976年。この43年間に、日本国内はもとより、欧米、中国、台湾、韓国、東南アジアからアフリカ、さらには南米まで、これまで合計31の国と地域に納入し、世界のフィラメント織物を牽引してまいりました。

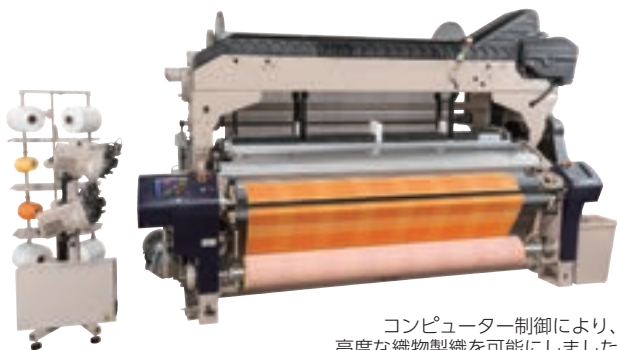
ウォータジェットルームは、水の噴射力で緯(ヨコ)糸を飛ばして、織物を織る織機です。水を使用するため綿糸や毛糸などのように水を吸い込みやすい性質の糸には使われませんが、ナイロンやポリエステルなど水を吸い込まない化学繊維・フィラメント糸の製織に対して最高の生産性とコストパフォーマンスを発揮します。

衣料の裏地などのシンプルな織物から、冬には欠かせないダウンジャケットの表地や極めて薄く軽いスポーツウエアなどの高機能生地、また壁紙やテントの生地、自動車のエアバッグなど非衣料用の生地まで幅広い織物が、当社ウォータジェットルームから生まれています。

開発当初はごく基本的な織物にしか対応できませんでした。しかし、お客さまの声を聞き、次々と開発される高機能素材に対応し、製織ノウハウを蓄積する中で、制御のコンピューター化を進め、飛躍的に対象とする織物の領域を広げてきました。

さらに、使用する水の量を最小限にする省水・省エネ技術を極め、今日、中国市場で社会問題となっている環境問題・排水規制の中でも、当社ウォータジェットルームは揺るぎない信頼をいただいております。

ウォータジェットルームとエアジェットルーム。今後、数年内にはエアジェットルームと合わせて、ジェットルーム生産30万台達成が見込まれています。これからも世界最多の生産実績とそれを支える最先端技術で、未来の織布業界を支えてまいります。



コンピューター制御により、
高度な織物製織を可能にしました

「健康企業」を宣言

今年5月、「健康企業宣言」を行いました。「宣言」では、健康診断受診率100%を目指すなど、社員が心身ともに元気に働ける職場を実現するための方針を定め、ホームページで公表しています。



社内ヨガ教室

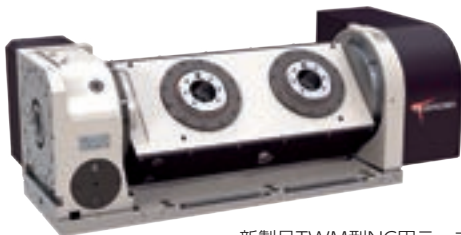
これに合わせて、多くの社員が昼食に利用している従業員弁当に、野菜を増やし、低カロリーに抑えたヘルシー弁当を追加しました。さらに、適度な運動習慣をつけるために社内でヨガ教室を開催したり、昼休みに「腹筋部」と称して腹囲を引き締める運動の時間を設けるなど、ユニークな活動を展開しています。

NC傾斜円テーブルに新機種追加

2018年12月、新型NC傾斜円テーブル「TWMシリーズ」の受注を開始しました。

この機種の特徴は、ワーク（素材）の取付面を2つ持つため、同時に2つのワークを加工できることです。段取りの時間、加工時間が短縮されるため、量産加工には最適の機種です。

海外市場では、マルチスピンドルといわれるこのようなタイプの製品の需要が高く、中国や欧米向けの販売促進を図っています。



新製品TWM型NC円テーブル

コンポジット新機種が欧州で高評価

今年の3月にフランス・パリで開催された、世界最大級の複合材料関連展示会 JEC World Show 2019 で、新製品 TAW エッジ溶着機を出展し、デモンストラーションを行いました。



注目を集めたJEC World展

この装置は熱可塑性プリプレグの角度材ロールを製造する機械で、津田駒独自のアイディアで開発した世界初の機械です。複合材加工技術の先進である欧米のお客さまにも、高い関心を寄せていただき、大きな手ごたえを感じました。

子育て支援をさらに充実

今年1月から、育児短時間勤務の対象となる子供の範囲を、小学校就学前から小学校3年生までに拡大しました。当社では、以前から育児休暇制度、子供の看護休暇制度などを設けており、2017年1月には、子供の看護休暇制度を有休化するなど、子育て世代が安心して働ける会社を目指しています。



マタニティ優先駐車スペース

連結財務データ

四半期連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	前 期 平成30年11月30日現在	当第2四半期 令和元年5月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	27,059	26,120
固定資産	12,362	12,489
有形固定資産	9,321	9,594
無形固定資産	196	292
投資その他の資産	2,845	2,602
資 産 合 計	39,421	38,610
負 債 の 部		
流動負債	17,430	16,784
固定負債	7,359	6,935
負 債 合 計	24,789	23,719
純 資 産 の 部		
株主資本	13,592	13,946
その他の包括利益累計額	△128	△280
非支配株主持分	1,168	1,225
純 資 産 合 計	14,632	14,891
負債純資産合計	39,421	38,610

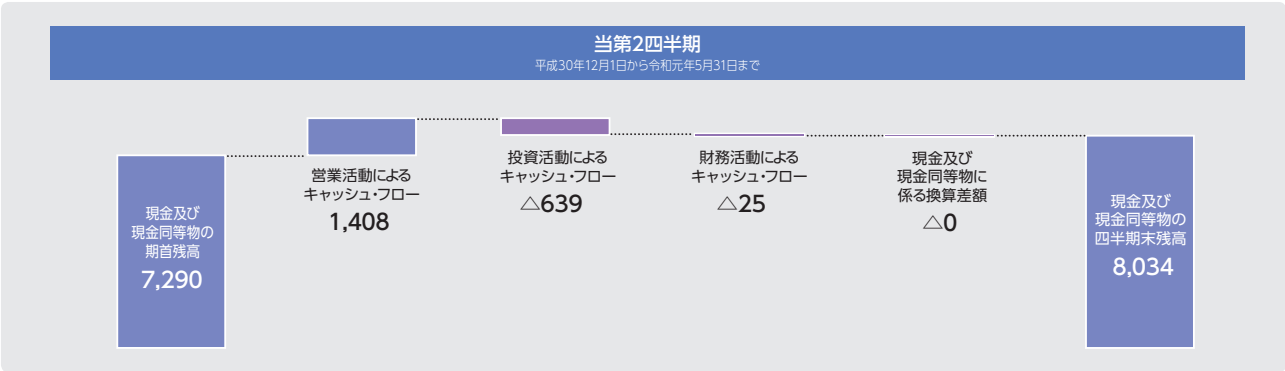
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (累計) 平成29年12月 1日から 平成30年 5月31日まで	当第2四半期 (累計) 平成30年12月 1日から 令和元年 5月31日まで
売上高	19,914	20,325
営業利益	243	640
経常利益	179	554
税金等調整前四半期純利益	177	549
四半期純利益	140	514
親会社株主に帰属する 四半期純利益	120	451

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



会社概要

本社所在地
設 立

〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号
昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）

資 本 金
従 業 員

123億1,654万円
971名

役員状況（令和元年5月31日現在）

代表取締役会長	菱 沼 捷 二	
代表取締役社長	高 納 伸 宏	
常 務 取 締 役	松 任 宏 幸	管理部門統括、総務部長、輸出管理室長、津田駒機械設備（上海）有限公司 董事長、津田駒機械製造（常熟）有限公司 董事長、 ふあみーゆツダコマ株式会社 代表取締役
取 締 役	山 田 茂 生	共和電機工業株式会社担当、共和電機工業株式会社 代表取締役
取 締 役	北 野 浩 司	製造部門統括、品質保証部門担当、品質保証部長
取 締 役	坂 井 一 仁	コンボジット機械部門統括、準備機械技術部門担当、準備機械技術部長、株式会社T-Tech Japan 代表取締役
取 締 役	大 森 一 充	工作機械関連事業統括、工機技術部長、航空機部品推進室長、ツダコマテクノサポート株式会社 代表取締役
取 締 役	寺 馬 武 志	繊維機械事業統括、繊維機械販売部長、TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED 代表取締役
取 締 役	越 潮 田 進 資	
常 勤 監 査 役	橋 本 博	
常 勤 監 査 役	長 谷 政	（澁谷工業株式会社 取締役副会長）
監 査 役	澁 谷 政 隆	（カジナイロン株式会社 代表取締役社長）
監 査 役	梶 政 隆	
執 行 役 員	浅 井 俊 和	製造第1部長
執 行 役 員	室 井 哲 也	生産技術部長
執 行 役 員	山 田 和 史	繊維機械技術部長
執 行 役 員	宮 田 幸 幸	調達部門担当、調達部長
執 行 役 員	林 隆 峰	津田駒機械製造（常熟）有限公司 総経理

*取締役 越馬進治氏及び潮田資勝氏は社外取締役です。
*監査役 澁谷 進氏及び梶 政隆氏は社外監査役です。

株式の概況（令和元年5月31日現在）

株式の状況

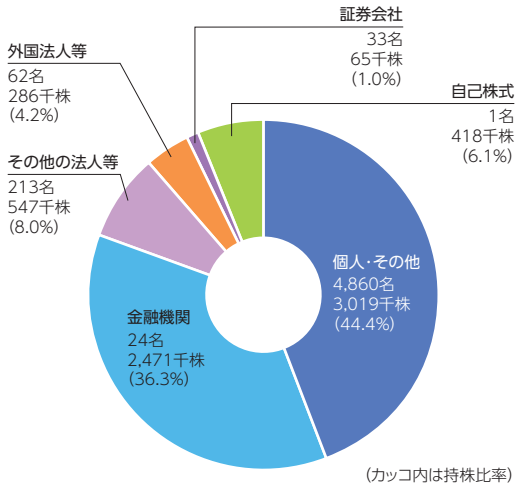
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
（内自己株式の数）	(418,288株)
③単元株式数	100株
④株主数	5,193名

大株主の状況

株 主 名	持株数（千株）
津田駒取引先持株会	986
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	758
明治安田生命保険相互会社	350
株式会社北陸銀行	258
株式会社北國銀行	232
三井住友海上火災保険株式会社	178
東京海上日動火災保険株式会社	177
ツダコマ従業員持株会	173
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	156
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	85

（注）当社の保有する自己株式418千株は上記表には含んでおりません。

株式の分布状況





株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（第1部）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国 各支店で行っております。

ホームページのご案内

<https://www.tsudakoma.co.jp/>